



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ユニマツ リタイアメント・コミュニティ  
 コード番号 9707 URL <http://www.unimat-rc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 清彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 寺坂 淳 (TEL) 03-5413-8228  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	28,381	4.0	1,859	△0.7	1,550	△3.0	849	△42.5
2019年3月期第2四半期	27,293	20.8	1,871	29.4	1,597	44.8	1,477	△11.2
(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期	880百万円(△37.3%)		2019年3月期第2四半期		1,403百万円(△6.2%)			

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	98.81	—
2019年3月期第2四半期	171.80	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	56,255	17,222	30.6	2,003.03
2019年3月期	54,778	16,531	30.2	1,922.68
(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半	17,222百万円	2019年3月	16,531百万円	

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,360	4.6	3,793	7.0	3,178	7.0	2,180	△20.1	253.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	8,598,912株	2019年3月期	8,598,912株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	870株	2019年3月期	791株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	8,598,068株	2019年3月期2Q	8,598,448株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣向のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算内容の入手方法について)

当社は、2019年11月21日(木)に説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(追加情報)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10
3. その他	P. 10
継続企業の前提に関する重要事象等	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

介護業界は高齢者の人口増加に伴い、要介護認定者数も増加の一途をたどる一方で、約800万人ともされる団塊の世代が75歳以上となる2025年においては、介護人材は37.7万人不足すると推計されています。政府は、深刻化する人手不足に対応するため、生産性向上や国内人材の確保のための取組みを行ってもなお人材を確保することが困難な状況にある産業上の分野において、一定の専門性・技能を有する外国人材を受け入れる制度として、2019年4月に新たに創設した在留資格「特定技能」を施行しました。また、厚生労働省は、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる仕組み「地域包括ケアシステム」の構築を推進しております。このような経営環境の下、当社は持続的な成長を続けていくため、当社の代表的なビジネスモデルである複合型介護施設の運営力と収益力の更なる強化を図るとともに、既存施設との連携をも視野に、自宅にいながらにして施設並みのサポートを受けることができる、定期巡回・随時対応型訪問介護看護「そよ風定期巡回」の新規開発を進めております。また、深刻化する人手不足への対応や介護人材の確保・育成のため、当社100%子会社の「株式会社ユニマツト スタッフカンパニー」による医療介護系有料職業紹介事業の活用や、ICT化の推進などによる業務の効率化、入社後の社員に対する教育研修体制の強化によるフォローの充実化を図るなど、働きやすい職場環境作りにも継続的に取り組むとともに、外国人材の受け入れ態勢の整備にも取り組んでおります。更に新たな事業展開として、2019年4月に食事宅配サービス「食のそよ風」、6月に介護保険デイサービスと保険外リハビリサービス、就労支援を組み合わせた同時一体施設「ウェルビスタ ケアスタジオ」の展開を開始しました。今後も健康寿命が延びていることを背景とした、アクティブシニア市場へ事業領域を拡大するための新たな事業の推進を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、主力事業である介護事業において、稼働率及び入居率が向上したこと、また、飲食事業においては、レストラン事業の業容の拡大を図るとともに株式会社ユニマツトプレシャスより、新たに6店舗のレストランを譲受したことにより、売上高は283億8千1百万円(前年同期比10億8千7百万円増)となりました。一方で、介護事業において、新規施設の開設や新規事業の開始に伴う人件費や広告宣伝費の増加、および既存施設における修繕費の増加、また、システム投資費の増加等により、飲食事業においては、人件費、運搬配送費、工場の修繕費増加により、営業利益は18億5千9百万円(前年同期比1千2百万円減)、経常利益は15億5千万円(前年同期比4千7百万円減)、税効果の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億4千9百万円(前年同期比6億2千7百万円減)となりました。セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [介護事業]

介護事業におきましては、当第2四半期連結累計期間において、介護サービス拠点は、直営で291拠点となり、提供するサービス事業所は、616事業所(2019年9月末現在)となりました。介護事業の売上高は、主要サービスすべてにおいて稼働率及び入居率が向上したことによって売上が堅調に推移し、売上高は247億4千2百万円(前年同期比10億3千5百万円増)となりました。また、ICT化の推進によるシステム投資費用及び新規事業に関わる初期投資費用等の増加等により、営業利益は28億1千2百万円(前年同期比1億3百万円増)となりました。

#### [飲食事業]

飲食事業におきましては、連結子会社の株式会社ユニマツトキャラバンにおいて、レストラン事業およびコーヒー豆加工販売・カフェ運営事業ならびに洋菓子の製造・販売事業をおこなっております。当第2四半期連結累計期間においては、レストラン事業において2019年4月に新業態の「酒舗 らくだ」を新規開設し業容の拡大を図るとともに、2019年6月には株式会社ユニマツトプレシャスより、新たに6店舗のレストランを譲受したことにより、飲食事業の売上高は、内部売上高を含めて36億2千万円(前年同期比9千3百万円増)となりました。一方で、すべての事業において販売戦略分析に基づいた購買・仕入の選別と集中によって原価低減を図るも、人件費、運搬配送費、工場の修繕費の増加により、営業損失は2千9百万円(前年同期は1千1百万円の損失)となりました。

#### [その他の事業]

不動産賃貸事業及び連結子会社による有料職業紹介事業などその他の事業の売上高は、内部売上高を含めて1億9千1百万円(前年同期比8千万円増)、営業利益は0百万円(前年同期比1千2百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は562億5千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億7千6百万円の増加となりました。

負債は、390億3千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ7億8千5百万円の増加となりました。

純資産は、172億2千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ6億9千万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月15日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,130,105	9,349,668
受取手形及び売掛金	7,158,442	7,503,881
商品及び製品	290,210	281,460
原材料及び貯蔵品	145,845	150,460
その他	2,021,915	2,506,830
貸倒引当金	△53,977	△54,353
流動資産合計	19,692,542	19,737,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,777,827	15,677,766
土地	5,865,088	5,874,589
リース資産(純額)	6,369,898	6,223,971
その他(純額)	2,911,907	1,642,133
有形固定資産合計	27,924,721	29,418,460
無形固定資産		
のれん	1,632,194	1,630,855
その他	534,124	717,955
無形固定資産合計	2,166,319	2,348,810
投資その他の資産		
差入保証金	710,179	665,842
敷金	2,289,120	2,313,515
その他	2,119,008	1,891,062
貸倒引当金	△123,007	△120,482
投資その他の資産合計	4,995,300	4,749,937
固定資産合計	35,086,340	36,517,208
資産合計	54,778,883	56,255,156

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,517,519	1,537,575
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	800,000	—
1年内返済予定の長期借入金	4,582,356	3,411,198
リース債務	197,148	201,842
未払法人税等	251,394	131,102
賞与引当金	568,039	557,307
その他	3,925,761	4,312,518
流動負債合計	12,292,219	10,601,543
固定負債		
社債	300,000	800,000
長期借入金	13,392,489	15,434,269
リース債務	7,554,200	7,452,090
長期預り保証金	1,912,098	1,863,339
役員退職慰労引当金	39,716	43,166
偶発損失引当金	20,442	20,442
退職給付に係る負債	1,549,941	1,578,487
資産除去債務	647,865	724,184
その他	538,460	515,455
固定負債合計	25,955,214	28,431,436
負債合計	38,247,434	39,032,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	8,122,974	8,122,974
利益剰余金	8,301,234	8,961,691
自己株式	△1,240	△1,370
株主資本合計	16,522,968	17,183,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,510	71,655
繰延ヘッジ損益	△5,145	△4,631
退職給付に係る調整累計額	△37,884	△28,143
その他の包括利益累計額合計	8,480	38,880
純資産合計	16,531,448	17,222,176
負債純資産合計	54,778,883	56,255,156

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	27,293,648	28,381,056
売上原価	21,662,235	22,189,154
売上総利益	5,631,412	6,191,902
販売費及び一般管理費	3,759,699	4,332,850
営業利益	1,871,712	1,859,051
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,680	10,235
受取手数料	18,553	14,030
貸倒引当金戻入額	5,222	2,171
受取損害賠償金	14,592	—
受取保険金	11,112	33,976
その他	23,018	31,357
営業外収益合計	80,179	91,771
営業外費用		
支払利息	288,780	278,219
その他	65,338	122,086
営業外費用合計	354,118	400,305
経常利益	1,597,773	1,550,517
特別利益		
投資有価証券売却益	14,954	—
補助金収入	6,774	19,144
受取補償金	—	34,197
その他	465	—
特別利益合計	22,194	53,341
特別損失		
固定資産除却損	16,148	28,961
固定資産圧縮損	6,750	16,488
減損損失	10,811	—
その他	1,200	15,857
特別損失合計	34,910	61,306
税金等調整前四半期純利益	1,585,056	1,542,552
法人税、住民税及び事業税	108,959	131,512
法人税等調整額	△1,119	561,424
法人税等合計	107,839	692,936
四半期純利益	1,477,216	849,615
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,477,216	849,615



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,477,216	849,615
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△87,893	20,145
繰延ヘッジ損益	1,186	514
退職給付に係る調整額	13,246	9,740
その他の包括利益合計	△73,460	30,399
四半期包括利益	1,403,756	880,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,403,756	880,015
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

## 1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月15日 取締役会	普通株式	154,774	18.0	2018年3月31日	2018年6月11日	利益剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

## 1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月15日 取締役会	普通株式	189,158	22.0	2019年3月31日	2019年6月10日	利益剰余金

## 2. 株主資本の金額の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	飲食事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	23,706,717	3,525,037	27,231,755	61,892	27,293,648	—	27,293,648
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	2,000	2,000	48,515	50,515	△50,515	—
計	23,706,717	3,527,038	27,233,755	110,408	27,344,164	△50,515	27,293,648
セグメント利益又は 損失(△)	2,708,701	△11,052	2,697,649	12,920	2,710,569	△838,856	1,871,712

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産分譲事業、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△838,856千円は、セグメント間取引消去等8,406千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△847,262千円であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	介護事業	飲食事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	24,742,706	3,561,458	28,304,165	76,891	28,381,056	—	28,381,056
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	58,725	58,725	114,154	172,880	△172,880	—
計	24,742,706	3,620,184	28,362,891	191,045	28,553,937	△172,880	28,381,056
セグメント利益又は 損失(△)	2,812,459	△29,417	2,783,042	83	2,783,126	△924,074	1,859,051

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、有料職業紹介事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△924,074千円は、セグメント間取引消去等6,744千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△930,819千円であります。  
全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。